



夢、かぎりなく。

HASHIMOTOTEN COMPANY PROFILE



CHALLENGE HASHIMOTOTEN

限 り な い 、 わ た し た ち の 挑 戦

創業から145年余りの歩みとともに

私たち橋本店が取り組んできたこと。

それは、ものづくりに対するこだわりと確かな技術で地域社会に貢献し、
信頼される企業であり続けるということ。

建設業は未知の空間に夢をつくる仕事。

その限りない夢に向かい、新しい発想と変化を恐れないチャレンジ精神で
私たちは歩み続けます。



2019

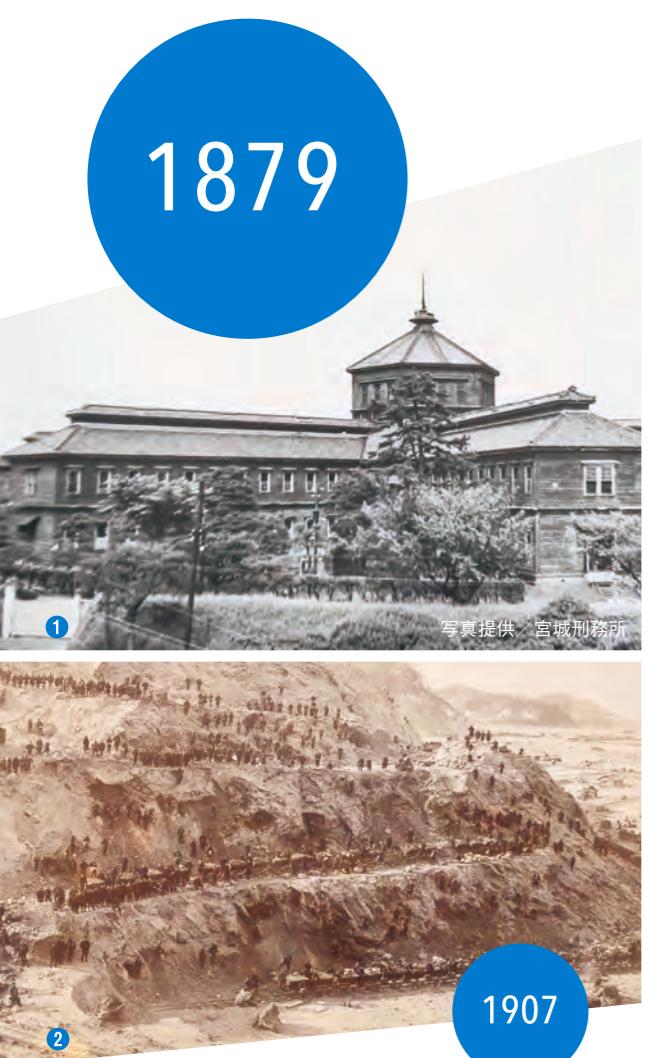


HASHIMOTOTEN DIGEST OF HISTORY

地域に長く愛される、確かなものづくり。これが橋本店の原点です。

明治から令和まで、それぞれの時代に花開いた先達たちの夢とチャレンジ精神の賜物をご覧ください。

1879



写真提供：宮城刑務所

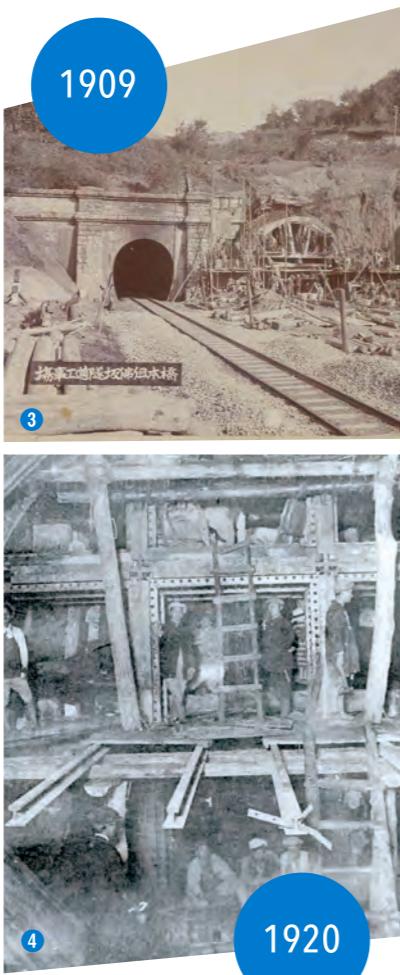
1907



①宮城集治監(現 宮城刑務所) 1879

1878(明治11)年に前身の「橋本組」が請け負った初めての建築事業。その特徴的な外観から「六角大学」「六角塔」と呼ばれた。老朽化と行刑理念の変遷に伴い、1973(昭和48)年に解体撤去された。

1909



③室蘭仮坂トンネル(室蘭本線) 1909

橋本店が手がけた室蘭本線の仮坂トンネル工事。当時は、上り・下りのそれぞれにトンネルを設けた。後に改修工事を経てコンクリート施工となつたが、1線は現在も使用されている。

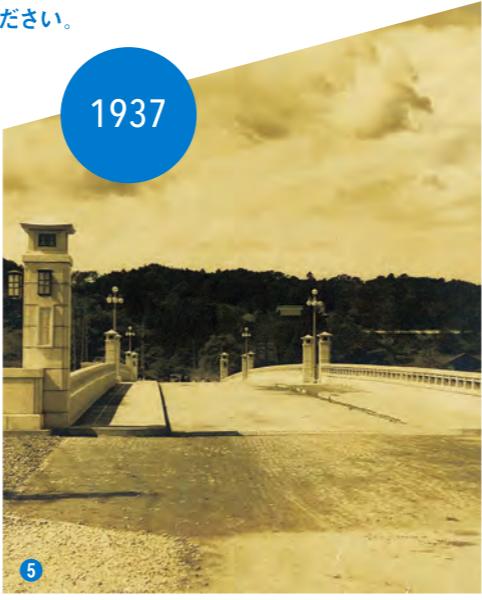
1920



②室蘭喇叭(らっぱ)山切取工事 1907

橋本店が北海道進出後に請け負った日本製銅所室蘭製作所の土木工事。全国から1700名ほどの作業員を集め、岩山の掘削や軽便線路の整備にあたった。大工事は、後に室蘭発展の礎を築いた。

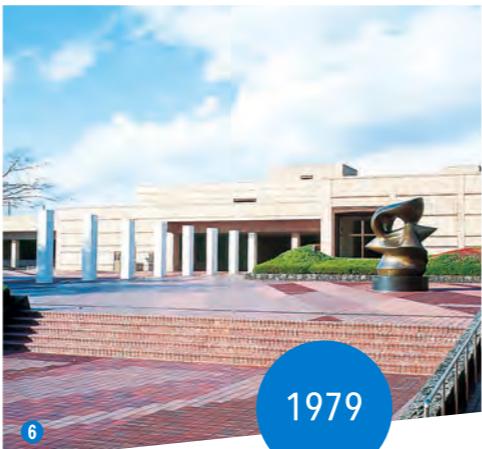
1937



⑤仙台大橋 1937

初代は江戸時代、伊達政宗により造られたが、1937(昭和12)年、橋本店によりコンクリートアーチ橋に。2015(平成27)年に再び補修工事を行い、築造当時の姿が蘇った。

1979



⑥宮城県美術館 1979

地域に根ざした公共文化施設として親しまれている。岩盤質の土地の整地など、工事は困難を伴つたが、国内の良好な建築資産の創出などに寄与したとして1983年、第24回建築業協会賞を受賞。

1993



1997



2007



2013

⑨駐日大韓民国大使館韓国文化院 2007

文化交流を通じ、韓日友好を促進する韓国の施設。2年に満たない工期や建物の規模、構造、デザインすべてにおいて高度な技術力と特殊な対応力が求められた。

⑦みやぎ産業交流センター (夢メッセみやぎ) 1993

東北最大の展示ホールを持つ施設。柱のない大空間を可能にするため、特殊なワイヤーロープで屋根を押し上げる構造となっており、長年の経験と技術が斬新な工法を後押しした。

⑩くじらのメガソーラー発電所 2012

世界的に再生可能エネルギーが注目を集めていることから仙台市青葉区の社有地に築造した、出力1500キロワットの大規模メガソーラー施設。環境に配慮し、発電事業を行う。

⑪せんだいメディアパーク 1997

仙台市の複合文化施設・せんだいメディアパークの新築工事は、熊谷組、竹中工務店、安藤建設、当社によるJVで受注。斬新な手法を取り入れた建築は、国内外から多くの見学者が訪れている。

⑫古川七日町西地区第一種市街地 再開発事業 2019

東日本大震災で被害を受けた大崎市の復興まちづくり事業の一つで、古川七日町商店街の活性化を目指し、公共施設や住居などを整備した。

⑬次世代放射光施設 ナノテ拉斯 2019

国内外から大きな期待を集め、世界最高水準の分析機能を持つ次世代放射光施設。同施設の建築工事は、鹿島建設・当社によるJVにて施工。当社は敷地造成工事・外構工事も担った。

⑭大崎市役所本庁舎 2021

大崎市の新たなランドマーク、交流やにぎわい創出の拠点として2023年5月に完成。BIMを活用して効率性を高め、工期の遅れを取り戻すことができた。

2021





TOP MESSAGE



株式会社 橋本店 代表取締役社長

武田 文孝

TAKEDA FUMITAKA

当社は、明治維新から間もない1878(明治11)年4月、わが国が近代へ脱皮しようとする激動の時代に建設業として誕生しました。2023年(令和5)年にはこの年から数えて、おかげさまで145周年を迎えました。

これも偏に、お客様をはじめお取引先各社、同心会、皆々様の常に変わらぬご支援の賜とこころから感謝申し上げます。

明治にはじまる当社土木建設事業は、鉄道事業においては全国でトップクラスの実績を誇り、現在の技術の基礎を形作ることになりました。また、鉱山経営、貿易事業などの多角的事業の展開と相まって、社会への奉仕は創業時にすでに理念として社業の中に組み込まれていました。

ある哲学者に次のような言葉があります。

千里の行は一步から始まる。

道を誤らず、急がず休まず、

一步また一步、堅実に足を運ぶ間にのみ、

千里に至るの策はある。

現在はあくまでも千里のなかの一步で、通過点のひとつにすぎません。時代の変化に対応してきたクジラが、空を飛ぶ時代が来るかもしれません。当社は空飛ぶクジラのようにその時代のニーズを的確に捉え、未来へ向かって着実に歩んでまいります。

経営理念

1. 自ら変化を創造できる人づくり
2. 信頼される堅実なものづくり
3. 地域社会に貢献する会社づくり

ブランドコンセプト



「陸から海へ！ 海から空へ！」

陸から海へ生活の場を変えたクジラの
次の夢は空を飛ぶことかもしれない。

変化してきたクジラのように、
私たちは大胆な発想を持って
進化し続ける企業を目指します。

Pick up content

橋本店の取り組み

①PFI事業

公共サービスの可能性を広げるPFI事業への取り組み。

宮城県及び仙台市では、官民の適切なパートナーシップのもと、良質な公共サービスの実現と可能性を広げるための有効手段の一つとして「PFI」の活用を推進しており、橋本店においても事業に取り組んでいます。

PFIとは?

PFI (Private Finance Initiative: プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)とは、公共施設等の建設や維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う、社会資本整備の新しい手法です。民間の資金とノウハウを活用し、民間主導で公共サービスの提供を行うことにより効率的で効果的な質の高いサービスの提供や事業コストの削減などが期待されています。



仙台市天文台

国内初の天文台PFI事業として、維持管理・運営されている仙台市天文台。2008(平成20)年7月1日に供用開始。「宇宙を身近に」をコンセプトに、宇宙・天文に関わる情報のみならず、歴史、環境、生命、音楽、芸術などと融合した多彩なプログラムを展開しています。橋本店では、戸田建設との共同企業体として施工に携わりました。長期にわたり来館者に安心して宇宙のスケールを体感してもらえるよう、耐震や省資源施工などの技術を活かし、事業に取り組みました。

まなウェルみやぎ

教育・保健福祉分野の様々な課題に対応する教育・福祉総合施設として2013(平成25)年4月に供用開始。橋本店は鹿島建設との共同企業体として施工に携わりました。施設内には「総合教育センター」「美田園高等学校」「子ども総合センター」「中央児童相談所」「リハビリテーション支援センター」が入居し、子どもの教育と福祉の様々な課題に応じたサービスを提供しています。PFI事業のメリットである設計者、施工者、維持管理者それぞれのノウハウを集結することで、より価値の高い施設が誕生しました。



各施設内や施設の結節点に様々なバリエーションのラウンジを設け、来館者や職員などのコミュニケーションの誘発、施設間の連携などのシナジー効果を高める。

仙台市高砂学校給食センター

仙台市高砂学校給食センターは、仙台市幸町学校給食センターの老朽化と耐震性の強化等に対応するため、新たな学校給食センターとしてPFI方式により新設され、橋本店はダイダンとの共同企業体として施工に携わりました。施設内には広々とした調理場をはじめ、食物アレルギー専用調理室も設けられ、市内の21の小・中学校に11,000食の給食を作り、届けています。



150食まで対応可能なアレルギー対応食調理室を完備(左上)するほか、適切な作業動線の確保と各調理室の配置などにより交差汚染を防止。

みずむすび事業(宮城県上工下水一体官民連携運営事業)

宮城県内の水道事業を対象としたコンセッション事業で、橋本店は、事業を支える「みずむすびマネジメントみやぎ」及び「みずむすびサービスみやぎ」両社の株主として参画しています。同事業は、3つの水道事業(上水道・工業用水道・下水



南部山浄水場



大槻(おおかじ)浄水場



仙塩浄水センター

Pick up content

橋本店の取り組み

②再開発事業

都市機能をリニューアルする 再開発事業への取り組み。

地域活性化を目指し、官民一体となって取り組む再開発事業。時代性、地域特性に合わせ、土地を合理的かつ高度利用し、整備を行うことで、都市機能のリニューアルを図ります。



古川七日町西地区 第一種市街地再開発事業

東日本大震災で被害を受けた大崎市の復興まちづくり事業の一つで、古川七日町商店街の活性化を目指し、公共施設や住居などを整備した。

市中心部に新たな魅力と 活力を吹き込む

東日本大震災により大きな被害を受けた大崎市中心部。この再開発事業は古川七日町商店街の再建と新たなぎわいの創出、利便性向上を目指したもので、橋本店は村田工務所と共同企業体を設立し、施工に臨みました。2019年10月に着工し、分割された4つの街区に杜の都信用金庫古川支店、なみかまち交流プラザ、七日町パーキング、レーベン古川七日町 THE STATEを次々に完成させました。2023年5月には隣接地区に橋本店が手がけた大崎市役所本庁舎も完成し、活気に満ちた新たな街が誕生しました。



なみかまち交流プラザ(左上)・レーベン古川七日町 THE STATE(右上)・七日町パーキング(左下)・
杜の都信用金庫古川支店(右下)

新ランドマークとして賑わいを創出

東日本大震災により被災した名取駅東口の活性化などを目的に、2015年より名取駅前地区市街地再開発組合が再開発事業を推進。橋本店は、鹿島建設、セコムホームライフ、久保田本店、アットシステムの各社とともに「名取駅前再開発共同企業体」を設立し、再開発事業に取り組みました。施設建築物は、北・南・P棟の3棟で構成され、北棟には名取市図書館や増田公民館、商業施設を、南棟には商業施設や集合住宅を配置。南棟2・3階の中間部分に中間免震層を設置し、防災を強化した構造となっています。歩道橋で名取駅とも直結し、新しいランドマークとして賑わいを創出しています。



名取駅前再開発事業

2018年12月19日グランドオープンを迎えた、名取市図書館を含む複合施設。名取駅からペデストリアンデッキ(歩道橋)で結ばれ、新たな人の流れや賑わいを創り出している。



BRANCH仙台

「ブランチ仙台イースト」(青葉区桜ヶ丘)と「ブランチ仙台ウエスト」(泉区長命ヶ丘)の2区画からなる「ブランチ仙台」。コミュニティを育む新たな拠点として地域の期待を集めます。

橋本店の取り組み

③商業施設

生活利便性の向上だけでなく、 新たなコミュニティを育む拠点に。

BRANCH(ブランチ)は、大和リース株式会社が事業展開する複合商業施設ブランド。スーパーマーケットやドラッグストア、飲食店、クリニックモールをはじめ、体験型施設や交流スペースなどを備えた新業態の施設で、宮城県初となる「ブランチ仙台」は橋本店が新築工事を受注。2区画からなる施設は、2018年11月

に「ブランチ仙台イースト」、2019年4月に「ブランチ仙台ウエスト」がそれぞれ開業。周囲の景観に馴染む開放感のある施設は、生活利便性の向上やライフスタイルの提案とともに、地域の活性化と様々な世代のコミュニティを育む新たな拠点として期待を集めています。

Pick up content

橋本店の取り組み

④i-Construction

i-Constructionで 生産技術向上を目指す

国土交通省が推進する「i-Construction(アイ・コンストラクション)」とは、情報通信技術を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図る取り組みのことです。橋本店では、ICTの活用やBIM/CIMをはじめとする設計・施工一貫方式の普及促進、適正工期算定プログラム活用など、生産技術向上に向けた取り組みを推進し、実践しています。



BIM活用実績

大崎市役所本庁舎新築工事

大崎市の新たなランドマーク、交流やにぎわい創出の拠点として2023年5月に完成した大崎市役所本庁舎。この建設工事において、橋本店ではドローンによる写真撮影やウェブカメラによる工事現場の遠隔監視、ウェブ会議の実施などのデジタル技術を活用しました。また、敷地が狭隘であったことからトレーラーやクレーンなどの重機の最適な配置計画や仮設計画をBIMによりシミュレーション。そのほか、鉄骨と設備配管などが干渉する不整合箇所の把握にも活用。危険箇所や作業手順をBIMで可視化し、関係者間で共有することで、生産性効率化と安全性の向上が実現しました。



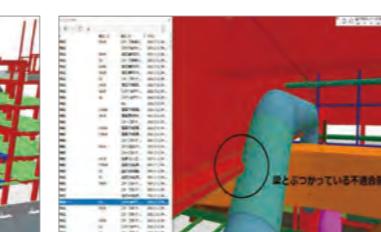
完成バース



BIMで作成した完成モデルと仮設計画モデル



クレーン配置シミュレーション



鉄骨と設備配管の自動干渉チェック
定格荷重・作業半径の可視化による配置計画の
効率化

BIM/CIMとは

計画、調査、設計段階から3Dモデルを導入し、その後の施工、維持管理の各段階まで連携・発展させ関係者間で情報を共有することにより、一連の建設生産システムの効率化・高度化を図ることを目的とした取り組みです。BIM(Building Information Modeling)は主に建物に、CIM(Construction Information Modeling)は主に土木分野で使用されます。



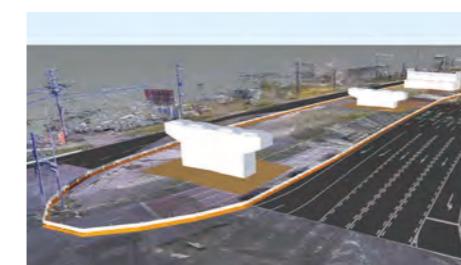
CIM活用実績

仙台地区橋梁下部工工事

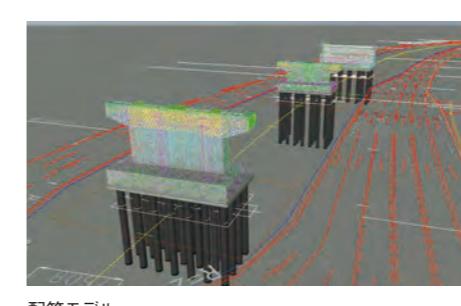
国道4号仙台拡幅事業は、国道4号の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした延長6km、6車線拡幅及び箱堤交差点の立体化事業。同事業において、橋本店では2021年夏以降、高架橋の橋梁下部工工事に臨みました。箱堤交差点の切り回しを含む厳しい工程の中、CIMを活用することにより施工ステップや原価進捗状況を可視し、工程をフォローアップ。作業効率化により全体で5%の工期削減が実現しました。



完成モデル



完成モデル



配筋モデル





最新技術で、街に、暮らしに笑顔を

ICTを中心に、橋本店ではさまざまな最新技術を導入・活用しています。最新の技術で業務の効率化を図るとともに、安全性の確保や高い居住性など、建設のさまざまなニーズに対応します。

3Dプリンタでコンクリート構造物を製作

3Dプリンタは3次元モデルをベースに特殊セメントを材料とした立体モデルを製作する技術。複雑な形状でも型枠無しで製作することができるため、省力・省人化と工期短縮が可能となります。



河川堰工事において魚道に設置する13組の隔壁を3Dプリンターで製作。
(内川流域山下堰右岸工事)

3Dスキャナー



従来の方法では、複数の人員と作業日数の確保が必要な測量作業も3Dスキャナーを活用することで、1人で1時間程度のわずかな時間で測量が可能に。点群や画像などの必要なデータをすべて取り込み、高精度のデータを作成することができます。

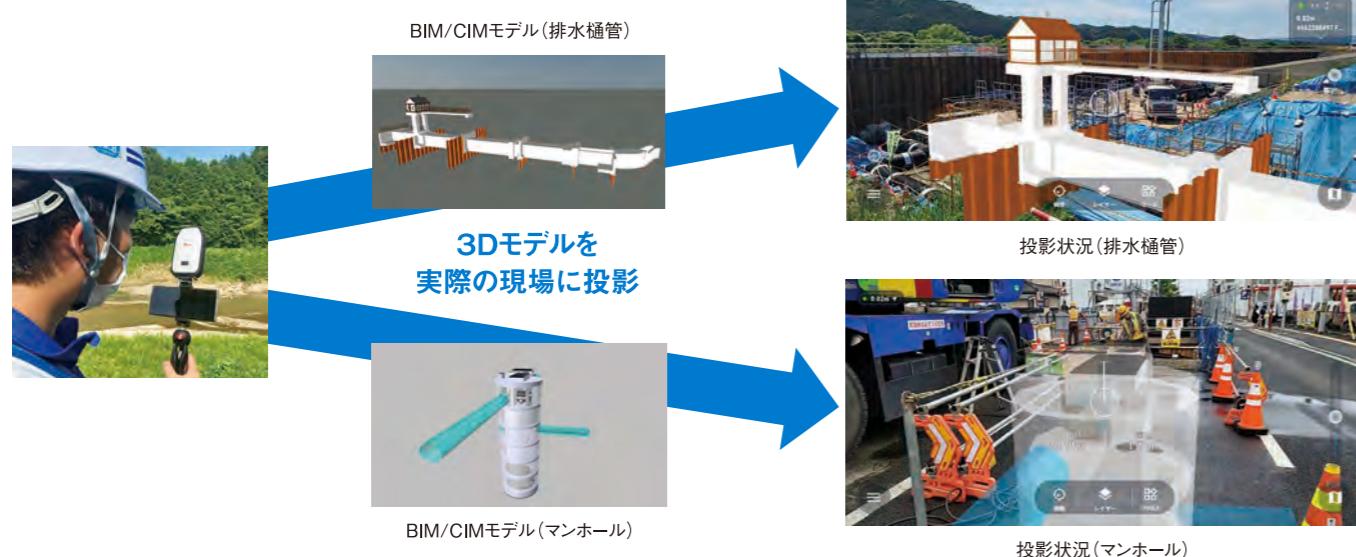
Quick3D

小規模な現場やドローン、レーザースキャナーが使用できない現場では、Quick3Dを活用しデジタルデータを作成。スマートフォンやタブレット端末に装着し、測量時間の短縮が図れます。



AR

作成したBIM/CIMモデルを、現実世界に投影できるAR(拡張現実)。完成イメージや設計・施工などの情報を共有でき、作業の効率化が図れます。



SE構法

「くじらの家」に採用するSE構法は、鉄骨造やRC造、大規模建築物と同じ構造計算による設計のため、高強度集成材とオリジナルSE金物を採用することで、木造建築でありながら優れた耐震性能を実現します。また、大開口部や高天井、自由な間取り、ビルトインガレージなど、多彩で自由な空間創りを可能にし、安らぎはそのままに、強さと夢にあふれた新世代の伝統工法と位置付けられています。



くじらの家 実績例



橋本店TMセンターもSE構法を採用。広々とした空間は、土木部・建設部の執務室、会議室などに使われています。



低予算・短工期を実現する 新工法「SSUT工法」

SSUT(サット)工法(※)は、低予算や短工期など、現在の建設業が抱える課題に応える工法の一つです。建物を基準となるパーツに細分化し、それらを1つのユニットとして工場製作。現場では積み木を積むようにそのユニットを組み立てるだけで建物が完成するので、圧倒的な工期短縮や、人手不足、低資源化などの課題改善が図れます。

(※)2010年(株)サトコウが特許取得



橋本店がSSUT工法により施工した「ドーミーインEXPRESS仙台シーサイド」は約6ヶ月間で完成。大幅な工期短縮により早期の営業開始が可能となりました。

Pick up content

橋本店の取り組み

⑤構法・工法

土木は、国土を守り、 経済を支える重要な仕事。

ここ数年、自然災害が頻発している日本。国土と人々の生活を守り、経済活動を支える土木事業においても、減災などの新たな役割が期待されています。近年はICTなどの新技術を活用し、生産性の向上を図るとともに魅力ある地域のインフラ整備・維持管理に貢献しています。



「気仙沼大島大橋架橋事業」では周辺の道路改良工事も行われ、橋本店では5つのトンネルも施工。(写真左より)浦島2号トンネル・乙姫1号トンネル・乙姫2号トンネル。

利用者目線で、 永く愛される構造物を造る

橋本店土木部は、宮城県内を中心に、主に官庁より受注した道路や橋梁、トンネル、湾岸・河川などにおける構造物を造っています。私たちが大切にしていること。それは「地域社会に貢献したい」という思いです。地域とコミュニケーションを図りながら、利用者目線で永く愛用される構造物を造る。地元企業である私たちだからこそできると捉え、日々研鑽に努めています。



最新技術で事業全体を スキルアップ

近年はICT (Information and Communication Technology) 技術を活用する土木工事が増える傾向にあります。橋本店でも2016年にISO27001認証取得。タブレット端末をWEB会議や電子決済等に活用するほか、各作業工程で3次元モデルを用いるCIM (Construction Information Modeling/Management) を導入し、社員はもとより事業全体でのスキルアップを図っています。



浦田函渠(上)・常磐自動車道 鳥の海(左下)・仙台港地区南防波堤(右下)。

都市部の地下開発に 欠かせないシールド工法

人口が密集する都市部において、地下鉄や共同溝などを築くことは、用地確保の難しさや交通渋滞など、様々な問題に直面します。「シールド工法」は地上での開削を行うことなく、掘削機を地中で掘進させながらトンネルを築造する工法です。橋本店では2008~2013年、「仙台市地下鉄東西線荒井トンネル工区」において、シールド工法を採用。地下水位が高く、崩壊性の高い砂質土壤を模擬実験や試験施工なども行いながら、慎重に施工を進めました。



地下鉄東西線荒井トンネル工区で使用したシールド掘削機(左)と完成した荒井トンネル(右)。

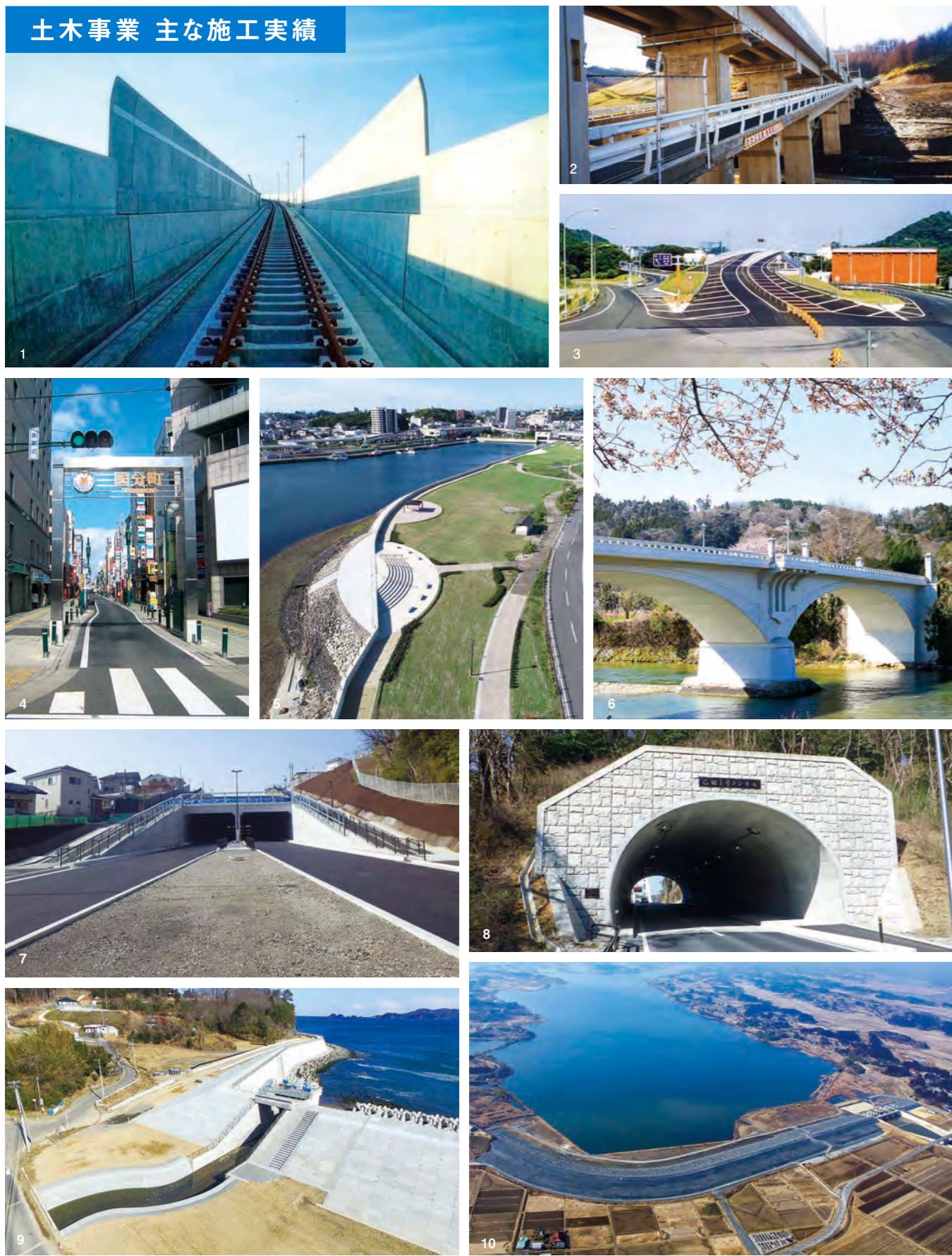
地域の夢をつなぐ海洋土木

東日本大震災では、岸壁や防波堤などの数多くの港湾施設が津波により破壊。橋本店では三隻の大型海洋工事用船舶を導入し、「仙台港区外港地区南防波堤(災害復旧)上部工事」や「名取市閑上漁港災害復旧工事」など、2016年度までに47件の海洋土木工事を受注。これらの海上工事は30,000時間無災害を記録し、2015(平成27)年1月8日、宮城県労働局より表彰されました。

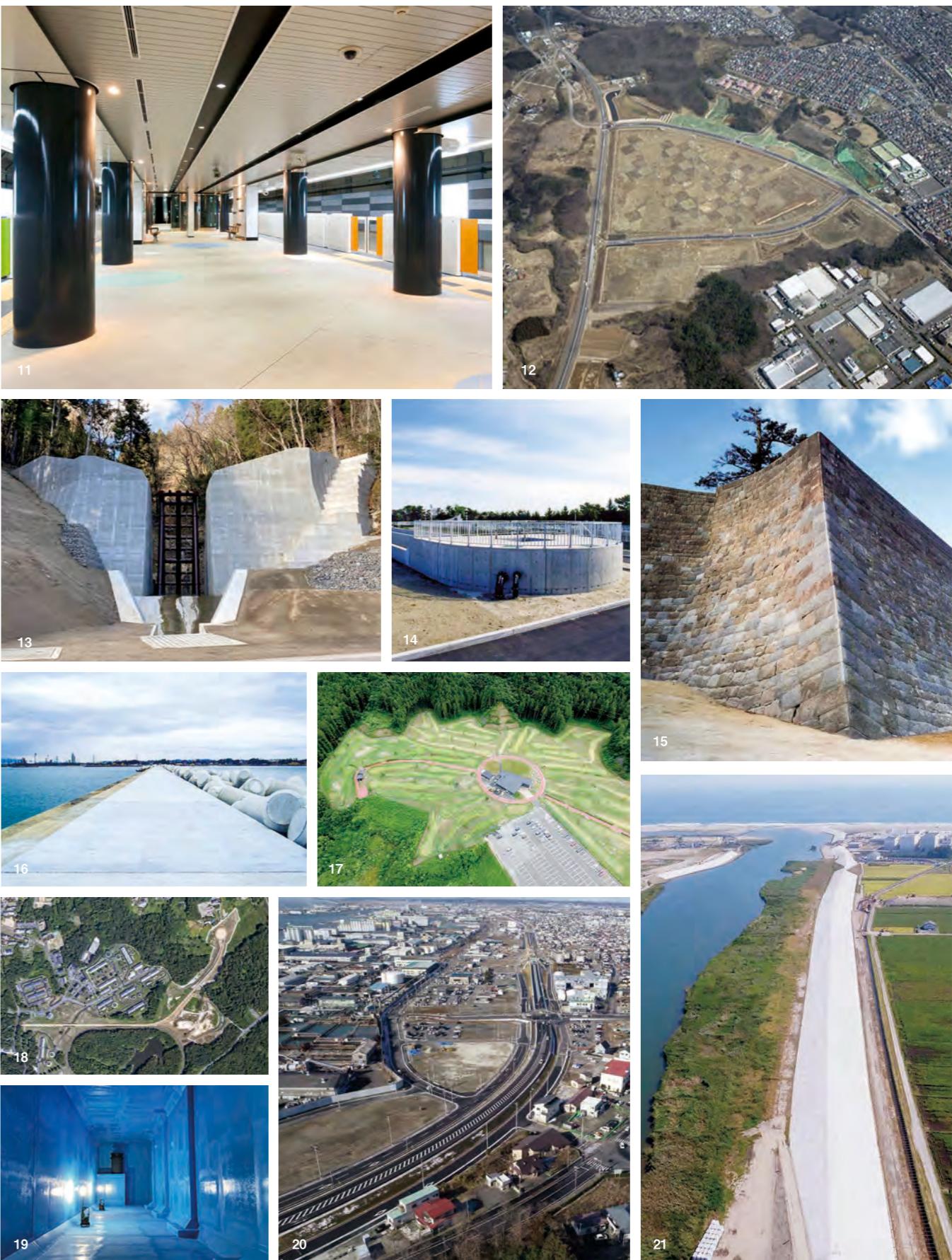


仙台港防波堤工事で活躍するクレーン船(左)と七ヶ浜町の新北防波堤災害復旧工事(右)。

土木事業 主な施工実績



1.仙台空港アクセス線(JV) 2.東北新幹線(山屋・馬場)(JV) 3.東北自動車道仙台南IC(JV) 4.国分町共同溝(JV) 5.北浜防潮堤・海岸通水門 6.仙台大橋 7.宮沢根白石線
(浦田工区)函渠築造工事 8.乙姫1~3号トンネル 9.白浜地区海岸災害復旧工事 10.長沼ダム(JV)



11.仙台市地下鉄東西線仙台駅(JV) 12.大和リサーチパーク(JV) 13.阿武隈川左岸砂防堰堤工事(その6) 14.山元町山元浄化センター 15.青葉山公園仙台城石垣(JV)
16.新北防波堤 17.三本木パークゴルフ場(JV) 18.社台ファーム山元トレーニングセンター 19.仙南・仙塩広水 姥ヶ懐調整池(船体・配管)工事 20.門脇道路改築工事(その2)
21.七北川河川復旧(その4)

あらゆる発想と技術革新で、 建築の可能性を広げる。

橋本店建築部は、宮城県内を中心に官庁や民間企業より発注される建物を造っています。その種類は、学校などの教育施設をはじめ、文化施設、医療施設、住宅、商業施設、ホテル、オフィス、工場、寺社など多岐にわたります。昨今はICTやタイムラプス(短縮動画)を利用し、スピーディーな情報共有を図るなど、作業効率の向上や技術革新を進めています。



駐日大韓民国大使館韓国文化院

海外企業とのJVで橋本店が建築工事を請け負った「駐日大韓民国大使館韓国文化院」。個性的な外観をはじめ、階層によってS造やSRC、RCなどの様々な工法が用いられた特殊な構造であったことから高い技術が求められた。

柔軟な発想と新技術で 次世代のニーズに対応

構造物を造るには、そこに関わるあらゆる人の経験や知恵が不可欠です。橋本店では、もの作りに対する柔軟な発想こそが、建物の新しい価値を提供できると考えています。昨今は、PFIなどの新しい事業方式や建物資産の効率的な長寿命化、収益向上に向けた技術が求められていることから、これまでのノウハウとともに、ICTやBIM(Building Information Modeling)などの新しい技術を導入し、これから建築の可能性を広げていきます。

防災や減災機能の ある建物の提案を目指す

東日本大震災では、あらゆる建物の被害調査や修繕工事に携わり、地場ゼネコンとしての実績を發揮することができました。また、地震発生直前の3月1日に仙台市宮城野区に開設していた災害対策センターも震災の復旧工事の拠点として大きな役割を果たしました。今後は、災害発生時の対応だけでなく、施工時点から防災や減災機能を備えた建築物の提案をするなど、リスクヘッジを考慮したソリューションの開発と提供に努めたいと考えています。

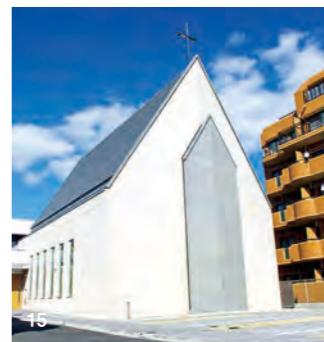


NHK新仙台放送会館(上)・大崎市古川地域災害公営住宅(左下)・多賀城市鶴ヶ谷地区災害公営住宅(右下)

建築 主な施工実績



1.エナジースクエアビル(JV) 2.内外エレクトロニクス江刺事業所 3.足利本店潮見町工場 4.渡辺精機宮城工場 5.七十七銀行鶴ヶ谷支店(他 北仙台支店、中田支店など)
6.仙台銀行荒町支店(他 古川支店、志津川支店、歌津支店など) 7.河北新報社印刷センター(JV) 8.宮城県総合運動公園宮城スタジアム(JV) 9.仙台市地下鉄東西線仙台駅(JV) 10.トヨタカローラ宮城遠見塚店(他 泉バイパス店、古川店など) 11.春日パーキングエリア



12.仙台国際センター展示棟 13.東北学院大学 五橋キャンパス(JV) 14.ヨークベニマル荒巻店 15.日本基督教団仙台長町教会 16.社会福祉法人やすらぎ会 17.林業技術総合センター 18.東北工業大学長町キャンパス3号館 19.仙台厚生病院 20.宮城県宮城第一高等学校 21.仙台市荒井東復興公営住宅

資産の有効活用で、豊かな暮らしと地域の発展をサポート

私たちは「ものづくり」以外の分野においても、自社が所有する不動産を有効活用し、人びとの豊かな暮らしをサポートしています。そのコンテンツは、自社ビルにおけるテナントをはじめ、建物や土地の賃貸、太陽光発電事業など、多岐に渡ります。創業時から様々な事業を展開してきたチャレンジ精神のもと、地域の発展に貢献しています。

橋本店・橋本不動産所有物件



仙台橋本ビルディング

住所／仙台市青葉区立町27-21
所有／橋本店



橋本店テクノロジーマネジメントセンター

住所／仙台市宮城野区福室字県道前16-1
建築面積／496.86m²
リフレッシュルーム／161.48m²
倉庫／600.00m²
会議棟／568.07m²
敷地面積／9,787.68m²
取得日・所有／1961.6.13 橋本店



レジェンダ橋本

管理／(株)ジェイエスピーネットワーク
住所／仙台市青葉区一番町1丁目8-16
用途／賃貸マンション
取得日・所有／2006.3.22 橋本店



ドミーインEXPRESS仙台シーサイド

管理／石塚晴久((株)共立メンテナンス
代表取締役会長)
住所／仙台市宮城野区中野3丁目4-9
用途／土地賃貸
取得日・所有／1983.3.30 橋本店



ダイハツ仙台港北インター店

管理／宮城ダイハツ販売(株)
住所／仙台市宮城野区出花3丁目27-1
用途／テナント賃貸
取得日・所有／2017.10.1 橋本店(建物)
取得日・所有／1980.11.28 橋本不動産(土地)



古川七日町南街区 地域交流センター棟 1F・3F



酒のやまや清水沢店

管理／(株)やまや
住所／塩釜市清水沢2丁目74-2
用途／テナント賃貸
取得日・所有／1991.1.9 橋本不動産



くじらのメガソーラー発電所

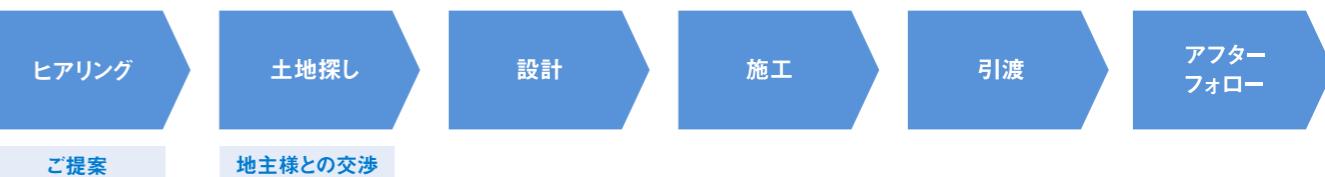
住所／仙台市青葉区芋沢字青野木247-1他
用途／太陽光発電事業 ※自社営業
発電所出力／1,500kW
推定発電量／年間約157万kWh(一般家庭約450世帯分の年間消費電力量に相当)
認定日／2012.11.19
竣工式／2013.2.20
所有／橋本店

土地探しから、設計、施工までをワンストップで提供

橋本店は、建造物を造るだけでなく、土地探しから調査・設計・施工までワンストップでご提供できることも大きな強みです。立地や規模、予算など、お客様のご要望に応じた、より満足度の高いトータルソリューションを目指します。

橋本店トータルソリューションの流れ

「建物を建てたいが、土地が見つからない…」など、さまざまなニーズに応じて丁寧にヒアリング。土地探しや地主との交渉なども行い、これまでの豊富な実績をもとに最適なソリューションをご提案。設計・施工からアフターフォローまでトータルにご提供できるのが私たちの強みです。



主な実績



白石ボリテックス工業

白石市内にあった同社工場の建て替えに携わりました。事業地内に建て替えの余地が無かったことから、移転先の土地探しからスタート。橋本店では複数の候補地を提供し、交通アクセスなどの面から蔵王町内の当該地を選定いただきました。土地売買の交渉から契約、地域の住民説明会など、土地取得から建設までのあらゆるサポートをワンストップで行いました。



SDGsの取り組み

「持続可能な未来のために、建設業の私たちができることは何だろう」

地域とともに橋本店グループはSDGsに取り組んでいます。

地球環境の保全

SAKURAプロジェクト

『SAKURAプロジェクト』は、2018(平成30)年4月20日に迎えた橋本店創業140周年の記念事業の一つです。2016(平成28)年4月の「橋本店SAKURAプロジェクト140」発足を皮切りに、橋本店が施工に携わった公共建築物や公共土木施設の周辺地域などに桜を寄贈し、感謝を込め植樹を行っています。植樹場所は、大衡村や気仙沼市大島など宮城県内の20箇所以上に上ります。今後も植樹させていただく各地の発展を願い、桜の成長とともに地域の皆様が毎年暖かい春を迎えていただけるよう祈念し、プロジェクトを進めて参ります。

期間	2016年4月～
植樹場所	橋本店が施工に携わった公共建築物、公共土木施設の周辺など



2016(平成28)年11月3日 気仙沼市大島での桜の植樹会
地域住民の方々はじめ、来賓の方々、橋本店社員など約140人が参加し、御衣黄(ギヨイコウ)桜などを植樹し、地域発展を祈りました。



2018(平成30)年3月23日 大衡村での桜の植樹会
萩原達雄村長をはじめ、地域の方々も参加し、ソメイヨシノの苗木を植樹。皆様にとって癒しの空間となるよう祈念しました。



社会貢献への取り組み

橋本店では、本社のある定禅寺通りや、宮城県が認定する「スマイルセンター」の一員として行う清掃活動をはじめ、希少植物「ハマボウフウ」の保護活動など、地域に貢献する活動に継続的に取り組んでいます。

定禅寺通り清掃活動の実施



本社のある定禅寺通りは、毎年、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、みちのくYOSAKOIまつり、仙台青葉まつり、SENDAI光のページェントなど数々のイベントが開催されることから、各イベントの開催期間中や終了後にゴミ拾いなどを継続的に行い、環境美化に努めています。

スマイルセンター活動



宮城県認定の「スマイルセンター」(※)の一員として、県内各地で定期的に清掃活動を行います。

(※)スマイルセンターとは、宮城県の認定制度で、県内の道路・河川・海岸等でボランティアとして清掃や緑化作業などの美化活動を行う個人・団体をセンターとして認定するものです。

災害復興への取り組み

橋本店では2008年の岩手・宮城内陸地震を教訓に、2011年3月1日に「高砂資材センター(現テクノロジーマネジメントセンター)」を開所。同年3月11日の東日本大震災、2019年10月の台風19号では、災害発生の直後から国や各自治体からの緊急要請に対応し、災害復旧に取り組みました。

被災地への支援物資の運搬

東日本大震災では、地震により道路や鉄道が大きな打撃を受け、救援物資の輸送がままならない状況となりました。発生翌日の12日、国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所より、宮城県南三陸町へ緊急物資を輸送するための国道45号線のがれき撤去要請が入ったため、橋本店では国道4号を櫛(くし)の軸に、沿岸部に通じる東西の主要道路を櫛の歯に見立てて開通を行い、救援ルートを確保する「くしの歯作戦」を実施。複数の地元建設業者が一丸となり、各所で開通作業に取り組んだ結果、15日には15のルートが通行可能となりました。



橋本店の復旧活動

東日本大震災において、橋本店が受けた復旧要請は260件を超えました。「復興優先」をスローガンに掲げ、社員は不眠不休で復旧活動に努めました。



東名災害復旧工事
地震と津波により孤立した東松島市東名地区へ仮設道路(堤防)を築造。

台風19号災害復旧対応
国道349号線では台風19号とその後の大霖により土砂崩れが発生。開通作業では、法面の補強や路肩を修復し、車が通行できるように復旧。

サステナブルなまちづくり

神社仏閣の改修・支援

橋本店では、歴史的建造物の保護や整備にも尽力しています。老朽化や東日本大震災で被害を受けた社殿や鳥居などを修復・再建し、地域の信仰や文化の継承に貢献しています。



櫻岡大神宮(仙台市青葉区桜ヶ岡公園)



孝勝寺釈迦堂(仙台市宮城野区榴岡)



紫稻荷大明神(仙台市青葉区立町)

くじらのメガソーラー発電所

所在地	宮城県仙台市青葉区芋沢下野～青野木地内
発電所出力	1,500kW(1.5メガワット)
推定発電電力量	年間約157万kWh【一般家庭約450世帯分の年間消費電力量に相当】※1
環境への効果	年間約750トンのCO2排出削減効果

※1 設備利用率を12%として次式より算出 1,500kW×24時間×365日×0.12(12%)

	出力	数量	合計出力	備考
太陽電池モジュール※2	155W	10,000枚	1,550kW	景観に配慮し、黒色のフレームを選定
パワーコンディショナ(PSC)	500kW	3台	1,500kW	無効電力の供給により系統電圧の変動を抑制
変圧器※3	550kVA	3台	1,500kVA	

※2 太陽電池モジュールは、ケーブルやパワーコンディショナでの電力損失を考慮して、パワーコンディショナよりも出力を大きくしています。
※3 変圧器は、パワーコンディショナから出力する無効電力の送電を考慮した出力としています。

景観に調和する部材を選定

仙台市青葉区芋沢に開所した「くじらのメガソーラー発電所」は、約3万4900平方メートルの社有地に1万枚のソーラーパネルを設置し、県内最大規模となっています。緑豊かな芋沢地区の環境に配慮し、太陽電池モジュールの周囲を構成するアルミフレームに黒色フレームを選定。これにより周囲の田園地域や里山とも調和する、落ち着きのある景観となっています。

効率性を考えた設置角度

「くじらのメガソーラー発電所」では、敷地面積と発電電力量とのバランスを考慮し、太陽電池モジュールの設置角度を10度に設定しています。また、前列の太陽電池アレイの影が後列に影響を与えないように効率的に配置しています。

**パワーコンディショナについて**

パワーコンディショナは、太陽電池が発電する直流電力を一般家庭で使用する交流電力に変換する装置です。「くじらのメガソーラー発電所」のパワーコンディショナは、太陽電池の発電能力を最大限に引き出す「最大電力点追従機能」と、日照の変化による出力変動での電圧変動を抑制する「無効電力供給機能」を内蔵しており、あらゆる条件下でも効率のよい給電を目指しています。

**CO2削減**

CO2削減の取り組みとして、2021年より電動式バックホーを東北で初めて導入しました。電動式バックホーは、化石燃料を消費せず、災害時に燃料への引火などによる二次災害を防止することができます。また、燃焼時に煤(すす)の排出を抑制するバイオ燃料(100%廃油)を使用する発電機の導入をはじめ、ソーラー式信号機や遠隔臨場システムの活用、環境にやさしいHV車の採用、オフィスでの消費電力の削減など、全社でカーボンニュートラルに取り組んでいます。



電動式バックホー



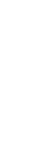
バイオ燃料

環境保全

社員の環境に関する知識向上のため、全社員のeco検定®の資格取得を推進。2022年には社員の合格率が90.13%に達しました。また、CI-NET(電子商取引ネットワーク)や電子マニフェスト(産業廃棄物管理システム)、受発注者間のやり取りを簡潔にするASP(情報共有システム)などを活用し、ペーパーレスに取り組んでいます。



回収ペットボトルを使用したオリジナルエコバッグを製作



eco unit
eco検定®は東京商工会議所の登録商標です

働き方改革

橋本店では地元建設業のリーダー企業として、主に業務効率化や労務管理の工夫などの働き方改革に積極的に取り組んでいます。業務効率化ではBIM/CIMをはじめとする最新技術の活用、労務管理ではPCシャットダウンシステムや終業チャイム、フレックスタイム制の導入など、多方面での改革を目指しています。

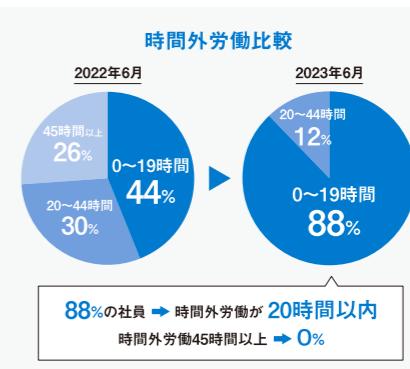
建設キャリアアップシステムの推進

建設キャリアアップシステム(CCUS)は、現場従事者の就業履歴や保有資格を登録し技能の公正な評価や工事の品質向上、作業効率化などにつなげるシステムです。橋本店では全ての工事においてCCUSを導入しており、協力企業登録状況は、事業者68%、技能者81%となっています。(2023年9月現在)

ワークライフバランス実現への取り組み

橋本店では、自社の社員をはじめ、当社の仕事に携わる全ての従業員にとって働きやすい職場環境であるために、労働時間の改善や生産性の向上に取り組み、ワークライフバランスの実現を目指しています。これまでの取り組みにおいて、社員の時間外労働が大幅に改善することができました。(右グラフ参照)

- 週休二日制への取り組み
- 時間外労働削減への取り組み
- 育児休業制度の利用促進



残業0推進ポスター

ダイバーシティ推進への取り組み**女性の活躍推進**

2023年10月、女性の活躍推進に関する取り組みが優良であるとして、橋本店は「えるぼし認定企業(3つ星)」の認定を受けました。このほか、建設業で働く女性従業員の活躍を推進する「けんせつ小町」や、宮城県の「女性のチカラを活かす企業認定制度」の認証など、女性が働きやすい職場づくりに取り組んでいます。



えるぼし認定(三段階目)



けんせつ小町



2022~2023 宮城県認証企業

女性のチカラを活かす企業認定(宮城県)取得

橋本マイスター

作業員の働き方改革の一環として、高い技術力を持つ職長を表彰する「橋本マイスター認定制度」を2017年に制定しました。技術力が高い技能者を配置することにより、建設現場における生産性や品質を向上させることを目的としています。



会社概要

- ◎創業／明治11年4月20日
 ◎資本金／1億円
 ◎従業員数／192名(2023年12月1日現在)
 ◎営業種目／1.土木建築請負業
 2.木材の販売及び製材業
 3.不動産の所有及び売買
 4.不動産賃貸業、不動産管理業及び不動産取引業
 5.太陽光発電による発電及び売電業
 6.建設資材の製造及び販売
 7.損害保険代理店業務
 8.前各号に付帯する一切の業務
- ◎特定建設許可番号 国土交通大臣許可(特-3)第581号
 許可年月日／令和4年1月13日
 ◎ISO認証取得／ISO 9001, ISO 14001
 ◎主要取引銀行／七十七銀行、仙台銀行、三菱UFJ
 銀行、みずほ銀行、商工中金

本社・事務所一覧

●本社

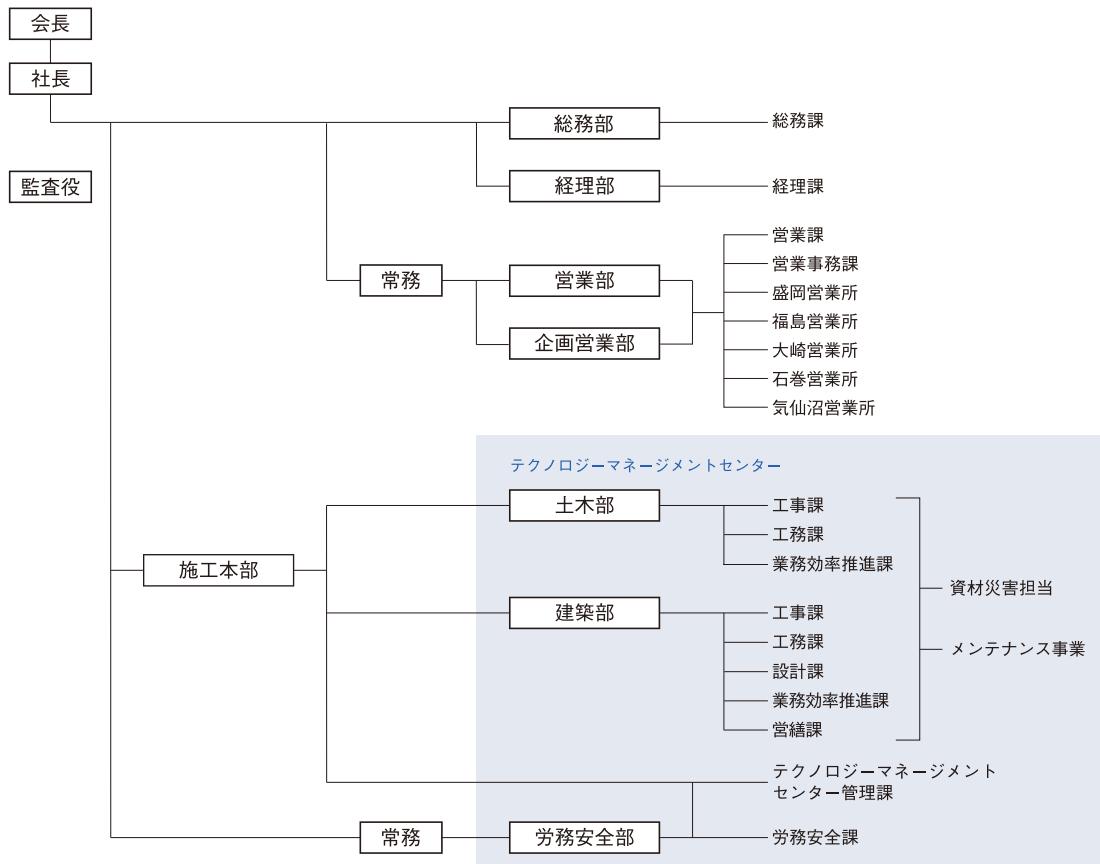
〒980-0822 仙台市青葉区立町27番21号 TEL:022-714-7020 FAX:022-714-7030

- テクノロジーマネージメントセンター
- 盛岡営業所
- 福島営業所
- 大崎営業所
- 石巻営業所
- 気仙沼営業所

〒983-0005 仙台市宮城野区福室字県道前16-1	TEL:022-352-0022 FAX:022-352-0033
〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通2-7-42 アルファ104	TEL&FAX:019-681-2041
〒963-8025 福島県郡山市桑野2-20-16	TEL:024-954-8013 FAX:024-954-8014
〒989-6153 大崎市古川七日町8-32	TEL:0229-87-3747 FAX:0229-87-3748
〒986-0814 石巻市南中里3-15-28	TEL:0225-25-4371 FAX:0225-25-4372
〒988-0042 気仙沼市本郷10-13 遠間ビル2F-1	TEL:0226-25-8956 FAX:0226-25-8957

役員・組織図

代表取締役会長 CEO	佐々木 宏明	常務取締役 労務安全部長	村山 英明	執行役員 理事	金子 潤
代表取締役社長	武田 文孝	執行役員 土木部長	常前 隆弘	執行役員 営業部部長	村野 清一郎
専務取締役 建築本部長	酒井 篤史	執行役員 建築部長	五嶋 康則	監査役 弁護士	三島 阜郎
専務取締役 土木本部長	相原 真士	執行役員 土木部長(原価管理担当)	庄司 泰啓	監査役 公認会計士	竹田 正幸
常務取締役 営業部長	保田 剛	執行役員 建築部長(原価管理担当)	稻村 力		



2024.4.1現在



株式会社 橋本店

〒980-0822 仙台市青葉区立町27番21号
TEL. 022-714-7020 FAX. 022-714-7030

www.hashimototen.co.jp

